



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 天界 1942, 22(251)

ISSUE DATE:

1942-04-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168374>

RIGHT:

天 界

(第 22 卷)

第 2 5 1 號

昭和17年第 5 號

本 號 要 目

口繪寫眞 保積氏の新鋭機

(巻頭言) メートル法へ進め山 本 生 139

白 色 の 矮 星.....リク天文臺 エイトケン氏 142

ガリレオ傳(2).....理學博士 山 本 一 清 145

昭和十六年度の太陽課綜合報告.....課 長 大 石 辰 次 151

星座の構成について.....山 本 一 清 154

吉浦町に於ける北辰妙見について.....畝 川 哲 郎 163

臺灣日蝕紀行(4,完).....井 本 進 166

觀測部月報：黃道光・流星・太陽・彗星 169

た よ り..... 173

編 輯 後 記..... 174

東京

昭和

本部：田上天文臺

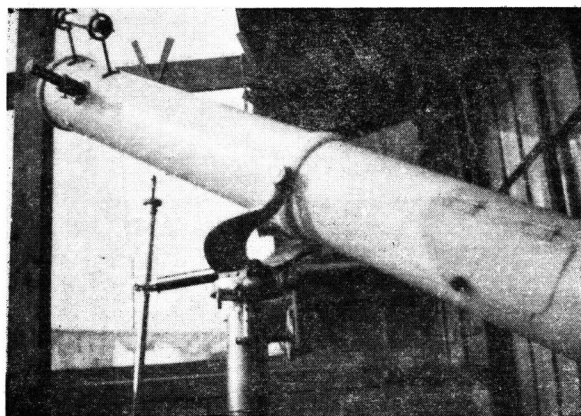
東 亞 天 文 協 會

事務局：滋賀縣 堅 田

保積氏の新鋭機

166mm 中村 鏡

(本誌第169頁参照)



東亞天文協會頒布印刷物目錄

題 目	執 筆 者	定 價	送 料
○變 光 星 報 告 (第1號)	倉 敷 天 文 臺	1.00	20
○變 光 星 報 告 (14年度前半)	"	10	4
○ " (14年度後半)	"	10	4
○ " (15年度前半)	"	10	4
○新撰天文エハガキ (一組8枚) {コロタイプ版 アロマイド版		30 1.50	4 4
○流星群の速度決定の一方法	小 槇 孝 二 郎	10	4
○黃道光の光度について	下 保 茂	10	4
○ガ リ レ オ 傳	山 本 一 清		
○久米榮左衛門と天文學	"	20	4
○印度洋航海日誌	"	20	4
○對日照の變化に就いて	醍 醐 正	10	4
○學 術 と 宗 教	"	40	4
○標 準 時 に 就 いて	"	10	4
○火星協同觀測結果報告 (15年)	伊 達 英 太 郎	20	4
○1942年の天文年鑑(天界第247號)		40	不要
○計算圖表に依る變星光度計算	內 藤 一 男	15	4
○天 體 宇 宙 の 話	山 本 一 清	30	4
○星 か げ (歌集)	錦織久良子編	1.20	15
○滿洲の氣候と天上の花	水 野 千 里	30	4
○標 準 天 文 學	山 本 一 清	2.00	20
○彗 星 總 目 錄 (英文)	山 本 進	非 賣 品	
○1921年のボンキネケ 彗星に附隨せる流星觀測 (英文)	山 本, 中 村	20	4
○攜帶用寫真眼視兩用反射鏡に關する試作概況	藤 波 重 次	20	4
○太 陽 面 經 緯 度 圖 (8枚一組)	山 本 一 清 監 修	50	4
○簡 易 星 圖	"	20	4
○草 場 恒 星 圖 (解説書付)	"	50	4

天 文 寫 真 第 1 輯 (既刊8種) 本 會 (一枚) 1.40 不要

天 文 寫 真 第 2 輯 (" 2種) " " 1.00 不要

1941年皆既日蝕山本博士放送錄音 (一枚2面) " 2.00 30

天 文 寫 真 (既刊26種) 知 新 觀 象 臺 種 々

天體觀測手引 (12章一冊) 本會觀測部(中村覺氏)編 1.00 不要

東亞天文協會

會員に關する報告

〔入會者〕	川島正吉(滿洲)	渡邊彰夫(大連)
荒川昌次(栃木)	三好敏美(東京)	北見彰久(大阪)
龜井啓一(和歌山)	南由次郎(和歌山)	
〔觀測部入部〕	青木章(大阪)	荒川昌次(栃木)
田中雅男(鎌倉)		
〔逝去〕	江川義(千葉)	

(注意)：御移轉の節には直ちに(前住所をも並記して)御通知下さい。觀測部(へ入部)の方は其旨附記して下さい。

昭和17年分會費・部費領收者芳名

會費(4圖)	來田晃(大阪)	須山正躬(東京)
野村修(島根)	磯山完也(茨城)	後藤進(大阪)
荒川昌次(栃木)	渡部栗(東京)	川島正吉(島根)
中埜哲郎(朝鮮)	甲藤茂(瀨戸)	渡部彰夫(大連)
廣瀬滿敏(京都)	小澤喜一(名古屋)	宗田順二(大阪)
長主從朗(福岡)	藤吉泰男(久留米)	和泉三思(臺北)
林克己(廣島)	吉田七郎(大牟田)	三好敏實(東京)
山崎幸夫(大阪)	北見彰久(大阪)	關西學院(西宮)
小林工(東京)	伊達英太郎(兵庫)	竹内潤(大阪)
小泉末吉(布施)	川人武正(香川)	星野實(東京)
東京一中天文部	砂川一平(東京)	熊野御堂子長(大分)
藤波重次(京都)	杉浦近園(京都)	茜時彦(和歌山)
熊切一男(静岡)	木村勝(東京)	宮原節(岡山)
茂原祥三(大阪)		
會費(一部完納)	高木四郎(東京)	降旗常雄(長野)
鈴木共富(東京)	藤吉泰男(久留米)	玉置彌榮(東京)
南由次郎(和歌山)	金順澤(京城)	岩城馨(静岡)
大柴謙三(東京)		
部費(2圖40錢)	來田晃(大阪)	野村修(島根)
渡部栗(東京)	宗田順二(大阪)	和泉三思(臺北)
山崎幸夫(大阪)	小林工(東京)	竹内潤(大阪)
田中雅男(鎌倉)	川人武正(香川)	星野實(東京)
東京一中天文部	小槇孝二(和歌山)	清水眞一(静岡)
部費(一部完納)	荒川昌次(栃木)	岩城馨(静岡)
大柴謙三(東京)		
部費(3圖50錢)	蔡章猷(臺北)	

東亞天文協會

() は電話

—“地方委員”—

田村 正三 函館市宮前町7
川崎 俊一 岩手縣水澤緯度觀測所(水澤1)
山崎 正光 福島縣會津中學校
森下 功 群馬縣太田町東長岡甲851
内藤 一男 東京市上野公園科學博物館內
古畑 正秋 世田谷區三軒茶屋143
五藤 齋三 (世4338)
土居 客郎 芝區南佐久間町2の4
稻垣 武五 田町6の19
小森 幸正 甲府市甲府放送局構內官舎
上條 清人 松本市榮町
中澤 登 長野縣埴科郡東條村
沓掛 七二 小縣郡青木村村松
清水 眞一 靜岡縣島田町(159)
大石 辰次 志太郡吉永村吉永1768
細野 貞 新潟市古町通り三番町
廣瀬永治郎 岐阜縣美濃町
小澤 喜一 名古屋市西區西萬町3
河路甲午郎 愛知縣鳴海町白山110
小楨孝二郎 和歌山縣有田郡金屋(金屋30)
坂元 鐵馬 奈良市法蓮寺町1095
木邊 成磨 滋賀縣野洲郡中里村(中里30)
吉田 悅藏 滋賀縣八幡町池田町5(335)
山本 進 草津町大路井420
藤井 守一 大津市石場濱(大津1450)
垂井増太郎 京都市明倫小學校(本2236)
小穴 匡雄 七條大宮泉商會社宅
宇野 良雄 上京區紫竹下芝本町72
吉岡 久男 上京區出雲路立本町14
百濟 敬猷 大阪府南久太郎町4丁目17
西川 英男 住吉區阪南町中3丁目
前田德次郎 田邊東の丁4の26
山崎 幸夫 帝塚山中4丁目
小尾 榮松 安土町2丁目(本805)
西村 傳次 市岡中學校(西110)
高城 武夫 四橋電氣科學館(新町1)
宮森 作造 大手前高女(東41)
廣野熊治郎 南區安堂寺橋3丁目(船1499)
田村 文造 東淀川區長柄西通1の14
梅本 恒夫 天王寺區逢上町34の1

大口 周作 大阪市東區豊後町25(東3457)
井伊 秀男 大阪府豊中中學校(岡町118)
井本 進 兵庫縣武庫郡本山村岡本高石
伊達英太郎 阪急沿線雲雀ヶ丘(池田2546)
村山 辨次 西宮市今津町水波103
吉田源治郎 高潮67
小泉 功 68
改發 香塙 神戸市須磨區關守町(須磨140)
荏部 進 灘區高羽ソノ山(御影3546)
美田 爲三 須磨離宮西町1の2(須磨938)
神田 壹雄 林田區荊藻園1/8
宮原 節 岡山市國富本町476
原 澄治 倉敷市本町(75)
森本 慶三 津山市山下()
松本 義一 尾道市久保町1453の1(752)
眞田 安夫 廣島市白鳥東中町71
村上 忠敬 廣島高等師範學校
本田 實 廣島縣沼隈郡瀬戸村觀測所
惠藤 一郎 山口市縣立教育博物館(294)
河端 定惠 愛媛縣新居濱市山田
飯 義壽 今治市片原町(54)
古賀 和吉 大牟田市通町2(2264)
有田 邦雄 長崎報時觀測所(580)
吉田千枝子 臺灣高雄州旗山526の3
松本 武男 彰北高女()
吉村 昌久 臺北市公會堂事務所
蔡 章 猷 臺北市入船町1の52
渡邊精吉郎 大連市臥龍臺41
河合 孝一 大連市滿鐵本社福祉課共濟係
橋田 義壽 錦町1の19
後閑 茂樹 滿洲國撫順新屯小學校
角田 清彦 中華民國、北京、石駙馬大街
津野田誠吾 21號、北京新民報社
熊田 儀助 中華民國汕頭病院
高村 正兄 920 Punahou St., Honolulu, Hawaii.
神屋 信一 3728 Monon St., Los Angeles, Cal., U.S.A.
454, Rua Dr. Thomas da Lima, S. Paulo. Brazil.

地方委員規定

第1條 地方＝アル會員中ノ有志者ヨリ特ニ適任者ヲ推舉シ地方委員トスル。

第2條 地方委員ハ本會ノ主旨ニ基キ、其ノ諸事業ヲ援助シ又一般會員ヲ指導獎勵スル。

1942年

五月の天象

時刻は日本標準時

新緑の五月、太陽は“ひつじ座”から“うし座”アルデバランの附近まで進む。晝はいよいよ長く13時間半を超える。季節は初夏、6日に立夏、22日に小満となる。2日の八十八夜を過ぎて農家もいよいよ忙しい。

月は1日に満月（てんびん）、7日に下弦（みづがめ）、15日に新月（うし）、23日に上弦（しし）、30日に再び満月（へびつかひ）となる。この月は満月直後に地球に近く、又、新月後に最遠となる。

水星は宵の西天を飾り、太陽から離れるとともに光度も -1^m から $+2^m$ にまで降る。19日に東方極大離角となり、この月は観望に都合がよい。5日には天王星と土星とに會合する。

金星は曉の明星として“うを座”南部を順行してゐる。光度 -4^m 、今年は夏頃までが観測に好都合であるが、秋分から冬にかけては太陽に近づくため不適當となる。

火星は夕の西空に2等級の姿を見せてゐる。距離は2單位、視直径 $4''$ 半で、いよいよ遠い。

木星も夕星で、次第に太陽に近づいて行く。光度 -1 級半、観測には適しない。

土星は天王星と共に下旬には太陽と會合する。その後、曉星となる。光度 0.3^m 。

天王星は22日に太陽と會合、光度 6.2^m 。

海王星は、日が暮れると東の空に見られる。“をとめ座” β 星の東を徐々に逆行してゐる。光度 7.7^m 、視直径 $2.5''$ 、観測に好適である。

この五月に観望に都合のよい遊星は水星、金星と海王星の3つで、他は何れも太陽に近いので、ここ暫くは観難くなる。

五月には有名な“みづがめ座” η 流星群が見られる。詳しいことは本誌第169頁に小楨課長の記事がある。

天象の詳細は本誌第247號（本年第1號）1942年年の天文年鑑 號及び急報を見られよ。

東亞天文協會

—大正9年(1920年)創立, 昭和7年(1932年)改名—

會長	山本一清	(滋賀縣草津町大路井420; 同栗太郡上田上村桐生)
副會長	宮森作造	小横孝二郎
理事長	宮森作造	觀測部長 木邊成麿
專務理事	中村覺	經理部長 宇野良雄
敎育部長	高城武夫	事業部長 大口周作
報導部長	山本一清	理事(無任所) 美田爲三

本部所在地	田上天文臺 滋賀縣栗太郡上田上
事務局所在地	滋賀縣堅田局區内
經營する天文台	倉敷天文台 岡山縣倉敷市
大阪支部所在地	大阪市電氣科學館プラネタリウム (大阪市四ツ橋)
臺灣支部	臺北市公會堂内
黃道光觀測所	廣島縣沼隈郡瀬戸村

東亞天文協會觀測部

1. 流星課 (課長 和歌山縣有田郡金屋 小横孝二郎, 幹事 宇野良雄)
2. 彗星課 (課長 滋賀縣草津町大路井420 山本 進)
3. 變星課 (課長 木邊成麿, 幹事 小澤喜一)
4. 太陽課 (課長 缺, 幹事 静岡縣志太郡吉永村吉永1768 大石辰次)
5. 黃道光課 (課長 田上天文臺 山本一清, 幹事 本田 實)
6. 豫報課 (課長 山本一清, 幹事 神田壹雄)
7. 機械課 (課長 滋賀縣野洲郡中里村木部 木邊成麿)
8. 寫真課 (課長 大津市鹿間町 堀井政三)
9. 遊星面課 (課長 兵庫縣川邊郡雲雀丘 伊達英太郎, 幹事 木邊成麿)
10. 掩蔽課 (課長 大阪市住吉區萬代東4の6 高城武夫)
11. 月面課 (課長 伊達英太郎)
12. 歷史研究課 (課長 兵庫縣武庫郡本山村岡本高石344 井本 進)

觀測部規定 (昭和6年11月22日制定)

- 第1條 本觀測部ハ東亞天文協會ノ目的ヲ達スル爲メノ一事業トシテ, 天體ノ觀測研究ヲ行フ。
- 第2條, 第3條, 第6條 (略)
- 第4條 東亞天文協會員ハ希望ニヨリ本觀測部員トナル事ガ出來ル。
- 第5條 部員ハ觀測上ノ必要ニヨリ課長ノ指導及ビ東亞天文ブレン, 東亞天文協會急報並ビニ種々ノ印刷物ノ配布ヲ受ケル。

御申込みは 滋賀縣堅田局區内 東亞天文協會 (電話は堅田郵便局)

(送金は安全, 確實な 振替口座 大阪56765番へ)

天界 第251號

昭和17年3月28日印刷
昭和17年4月1日發行

〔定價金40錢〕 送料金5厘

編輯兼 滋賀縣滋賀郡眞野村大字眞野513
發行者東亞天文協會 (振替大阪56765)
(代表者山本一清)
日本出版文化協會第2種會員(第220038番)

發行所 同上

眞美印刷所 (電西陣3702)

印刷所 京都市上京區上樺木町千本東入

印刷者 同上

配給元 東京市神田區淡路町二丁目九番地

橋本岩太郎

日本出版配給株式會社